

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立勸興小学校	担当者名	諸岡 麻由子(司書) 大西 章子(図書主任)
住所	佐賀市成章町3-16	電話番号	0952-24-4235

I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	めざせ図書館マスター!!図書館へ行こう!楽しもう図書館!活用しよう図書館!
	取組期間	令和4年4月7日~11月30日

II. 取組後の評価

評価	取組人数	323人	実施日数	159日	読書冊数	33334冊	連携した団体数	53団体
	取組内容 (概要)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館環境を整える <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書架を分類番号順に並びかえる。</li> <li>・ 正しい廃棄を行う。</li> <li>・ 学級文庫を各学級へ配置する。</li> <li>・ 高い本棚は上の部分に本を配架しない。</li> <li>・ 別置資料にはシール等で案内する。</li> <li>・ 図書館配置図の作成。</li> </ul> </li> <li>2. 図書の授業の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語の教科書に掲載された本や関連本をクラスへ貸出。</li> <li>・ 図書の授業で読み聞かせ。</li> <li>・ 分類番号を覚えてもらう学習。</li> </ul> </li> <li>3. 図書館に親しむための取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポイントカードの導入(新)</li> <li>・ 図書館クイズ(新)</li> <li>・ 新聞の活用の導入(新)</li> <li>・ 図書委員会主導の図書館まつり</li> </ul> </li> <li>4. 関係機関との連携した取り組み(続)</li> <li>5. 教科等の授業と関連した取り組み(続)</li> <li>6. 夏休みの図書館活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休み用ポイントカードの導入(新)</li> <li>・ 読書感想文の書き方プリント作成(続)</li> <li>・ 読書感想文の書き方ワークシート作成(新)</li> </ul> </li> <li>7. 読み聞かせボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝読の時間に月に1回、朝読み聞かせを行う。</li> <li>・ 毎月木曜日に1・2年生対象にブックトークや読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなどを行っていただく。</li> </ul> </li> </ol>						

工夫したこと

### 1. 図書館環境を整える

- ・分類番号が乱雑しており、資料を探すときに困難だったため、分類番号順に配架しなおした。
- ・別置資料もなるべく分類番号に近いところに設置し、わかりやすいよう、ラベル近くにシールを貼り出した。
- ・背の高い書架に人気の本を配架されていたが、子どもたちの背では届かないため、本が動かされていなかった。上の部分は本を配架せず、面出しとして活用することにした。
- ・貸出時に現在の貸出冊数を伝えるようにし、子どもたちの意識が高まるように努めた。
- ・100冊貸出達成した児童にはミニ賞状を進呈し、達成する喜びを得られるようにした。また、「どくしょの木」に掲示することで子どもたちの肯定感を得られるようにした。
- ・毎月、学期毎に貸出冊数上位者、また、飛躍して貸出冊数が伸びた児童へミニ賞状としおりを贈呈し、図書館の廊下にも掲示した。児童の励みになっている。
- ・毎月、月毎に学級全体・個人の貸出冊数一覧を学級担任に提示した。また、0冊の児童がいた場合は貸出を促すようにした。

### 2. 図書の授業の取り組み

- ・国語の教科書に掲載された関連本を学級や学年に定期的にコンテナやブックトラックに貸出を行い、学習の幅を広げるよう行った。
- ・3年生までは図書の時間を毎週設けてもらい、図書の時間の導入として毎時間、読み聞かせを行った。
- ・分類番号について知らない児童が多かったため、分類番号について学習を行った。わかりやすいよう書架を分類番号順に並べかえた。本を元に戻すときにラベルを見て戻す意識付けを行うため、どこにしまうのか伝えるようにした。

### 3. 図書館に親しむための取り組み

- ・毎月初めにお誕生日の児童へ「おめでとうカード」と貸出券を贈呈。
- ・今年度は新しくポイントカードの発行をして、図書館に来る楽しみを増やした。1回の貸出につき、1ポイントを押印し、20ポイント毎に貸出券1枚のプレゼント。
- ・新聞の「松丸君のクイズ」を図書館にファイリングし、正解者には貸出券をプレゼントした。他にも、新聞の切り抜きをファイリングしたり、掲示したりしてテーマによって本を一緒に配置した。毎週、児童たちはクイズに挑戦したり、新聞の切り抜き特集を見たりして楽しみにしている。
- ・図書委員会主体の図書館まつりと図書館経営

(ア)感染症対策を行ったうえで密にならないようなイベントを図書委員で意見を出し合い、みんなが楽しめるようなイベントを考え、6月(開催済)・11月(予定)の2回、開催。

(イ)ぬりえコンクール…図書委員が図書館にある本の中からぬりえの題材を

		<p>選び、手作りぬりえを作成。事前に用紙を自由に取ることができ、提出は1人1枚とし、提出した児童のぬりえを掲示した。結果は廊下にコピー作品と共に掲示。盛り上がりました。</p> <p>(ウ) 題名バラバラクイズ…本の題名の言葉をバラバラに並び替え、正しい題名を選ぶ (1～4年)、または記入した (5・6年)</p> <p>(エ) ○×クイズ…図書館や資料に関するクイズを○×方式で記入。図書館の正しい使い方を覚えてもらう意図があった。</p> <p>(オ) 3ヒントクイズ…3つのヒントから何の本か題名を導くクイズ。どれだけ本を読んだことがあるかで答えることができるクイズとなっていた。</p> <p>(カ) 好きな本コンテスト…初めての取り組みで、みんなに好きな本の題名を記入してもらい、好きな本のランキングを掲示した。廊下に掲示すると、自分が書いた本が何位だったのか気になり、たくさんの児童が見に来てくれてもりあがった。</p> <p>4. 関係機関との連携した取り組み (続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校や市立図書館と資源を共有することで、授業等に必要な図書を正確に、かつ確実に用いることで、児童の知識・理解に努めた。</li> <li>(資源共有システムの利用による本校の図書資料をカバーする役割。)</li> </ul> <p>5. 教科等の授業と関連した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の関連本や新聞の切り抜き、リーフレットを用意し、コンテナやブックトラックで学級や学年へ貸出を行い、教科に深みをもたせた。</li> </ul> <p>6. 夏休みの図書館活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段のポイントカードとは別に夏休み用のポイントカードを作成・配布した。ポイント3個毎にくじ引きができるようにして、夏休みも図書館にくる楽しみを作った。</li> <li>・夏休みに図書館に来た児童の学習支援…自由研究や学習の手助けをレファレンスした。</li> <li>・夏休みは普段より利用者が少ないため、図書委員体験として「貸出・返却」を自分たちでやってみる体験イベントを行った。初めての体験に目を輝かせて喜んでくれた。</li> <li>・夏休みに入る前に読書感想文の書き方プリント及び、感想文を簡単に書くことができるようワークシートを作成し配布した。</li> </ul> <p>7. 読み聞かせボランティアとの連携</p> <p>朝の時間、地域ボランティアや保護者による読み聞かせ。</p> <p>月1回の木曜日に1時間 (1・2年生対象) 各クラス毎に読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター等を行ってもらい、子どもたちの楽しみとなっている。</p>
	<p>取組んだ感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より勸興小学校に赴任し、図書館に入ってすぐに「見にくい・使いにくい・資料を探しにくい」といった印象を持った。他校から本校の図書館に訪れたほかの司書たちからも同意見をいただいた。そのため、本棚移動・書架配置換え・本棚から溢れた本を書架に収めた。また、本棚にぎゅうぎゅうと押し込</li> </ul>

		<p>まれた状況で本の出し入れが困難だったため、本棚に余裕を持たせた。</p> <p>また、すばらしい資料が揃っているのにも関わらず貸出が行われていなかったため、面出し・POP作成により子どもたちの読みたい気持ちを引き出した結果、面白いと読んでくれるようになった資料が多数出るようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館が近いため、自分たちで借りた資料や購入した資料を学校に持ってきている児童が多くおり、本をじっくりと読むことができる児童が多い学校だと感じたため、貸出冊数を重視するのではなく、自分にあった本を探すこと・本と向き合うことに重点をおいた図書館学習を行った。もちろん、初めて図書館に触れる児童もいるため、図書館来る楽しみや本を読む楽しみを知る学習も同時に行った。</li> <li>・分類番号について知らない児童が多かったため、請求記号の説明・ラベルの説明を行い、常に意識を持ってもらうよう声かけを行った結果、1年生でもラベルについて覚え自分たちで本を戻すことができるようになりはじめている。</li> <li>・自分たちで考え行動し、図書委員が主体となり休み時間の図書館運営を行っている。図書館まつりも図書委員が主体となり行うことができた。教員が側にいなくても、どう動いたらいいのか、自分たちより下の学年たちに教えたり案内したりすることができていた。</li> <li>・様々な取り組みを導入したことで「図書館って楽しい」と言ってくれる児童がたくさん増えた。また、レファレンスに力を入れるようになり本を紹介してほしいと気軽に申し出てくれる児童が増えた。</li> <li>・インターネットやスマホが普及する今、読書離れが心配されていますが、やはり児童たちは本が好きであり、読書意欲が高いと感じられた。</li> </ul>
	<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の楽しみだけでなく、図書館へ訪れる楽しみを体感してもらう。</li> <li>・図書館の使い方を学校で覚え、公共図書館及び、中学校・高校・大学へ進学した時に図書館を容易に使えるように学習する。</li> <li>・読み聞かせ等を継続することで、ことばの大切さ、ことばの使い方も伝えたい。</li> <li>・読書で心身の健康作り。</li> </ul>

## 図書館環境を整える



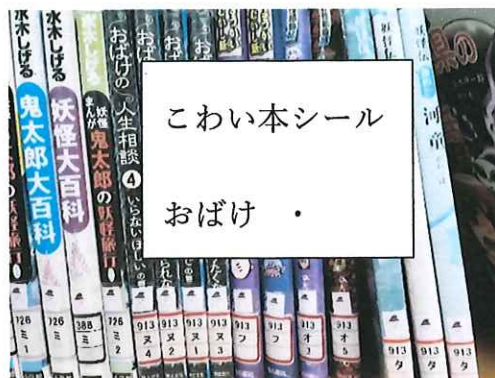
### 別置資料シール

環境・戦争・怖い本（おばけの絵）・人権・日本の昔ばなし・世界の昔ばなし・小さい絵本・各学年教科書掲載の本など別置資料にはシールを貼り、本棚にも案内を掲示している。分かりやすくなり、自分たちで間違えずに戻すことができるようになった。





戦争の本シール・



こわい本シール  
おばけ・

## 季節の本の展示

毎月、季節の本を展示して貸出を促している。普段、書架にあると借りられなくても、ここに展示されることで貸出につながっている。



## 本棚に余裕を

ぎゅうぎゅうに入れられた本棚に余裕を持たせ、展示も無かったので面出しをして貸出を促した。



普段あまり借りられない8類の本。面出し展示をすることで貸出につながっている。





## 新しい本の展示・テーマ展示

新しい本と共に、毎月テーマを決めて展示している。子どもたちは、まずこの本棚を見ることが多く、いつも空っぽになるほど人気の本棚となっている。

雑誌の切り抜きや時事問題、本に関する特集と共に展示すると貸出意欲が高鳴るようだ。

楽しい気持ちになるようとの願いで展示している。

夏休み前には読書感想文ワークシートと一緒に置いていると手に入る児童が多数いた。

## 背の高い書架は配架せず、上を面出し展示書架として活用

背の高い書架は子どもたちにとって届きにくいもの。また、見にくいので、配架せず、面出し展示書架として活用。興味・関心を持ち、貸出につながっている。



## 雑誌の活用

本の近くに雑誌の切り抜きと共に展示。これまで貸出されていなかった資料の貸出につながっている。







## 新聞の活用

毎日小学生新聞の展示・切り抜きを展示して時事問題に興味関心をもたせている。

## 子ども新聞の活用

佐賀子ども新聞を自由に持ち帰ることができるように置いている。また、切り抜きと共に関連本を展示して貸出につなげている。



## 新聞の活用(人気編)

毎日子ども新聞に「もちもち♡ぱんだ」が毎週金曜日に掲載されている。ファイリングすることで読み返すことができ、子どもたちに大人気となっている。



## 新聞活用(考えよう!編)

毎日子ども新聞には毎週金曜日に松丸君のクイズが掲載されている。切り抜きにして掲示し、誰でも挑戦することができるようにしている。答えがわかったら解答用紙に記入して提出。正解していたら貸出券をプレゼントしており、子どもたちは毎週楽しみにしている。



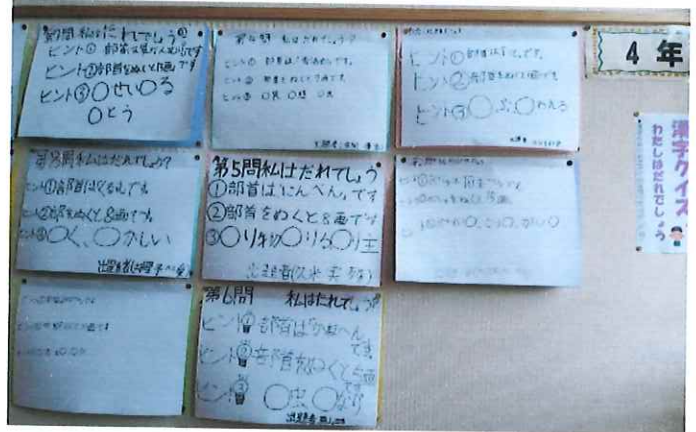
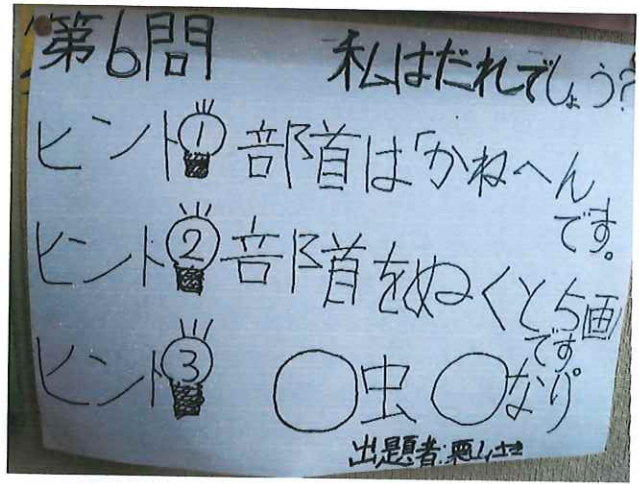
## 授業との連携

### 図書を活用

授業用貸出図書で作成した部首クイズ。4年生が1人1つずつ「漢字クイズ」を作成したもの。

全てに3つのヒントが書かれ、めくると答えが書かれる仕組みであり、それぞれに工夫がなされ、楽しいクイズとなっていた。

このクイズが出されたあと、漢字辞典や8類の本の貸出につながった。



## 図書館まつり

### めいえコンクール

上：学年別入賞者作品 下：作品別入賞者作品





## 好きな本コンテスト

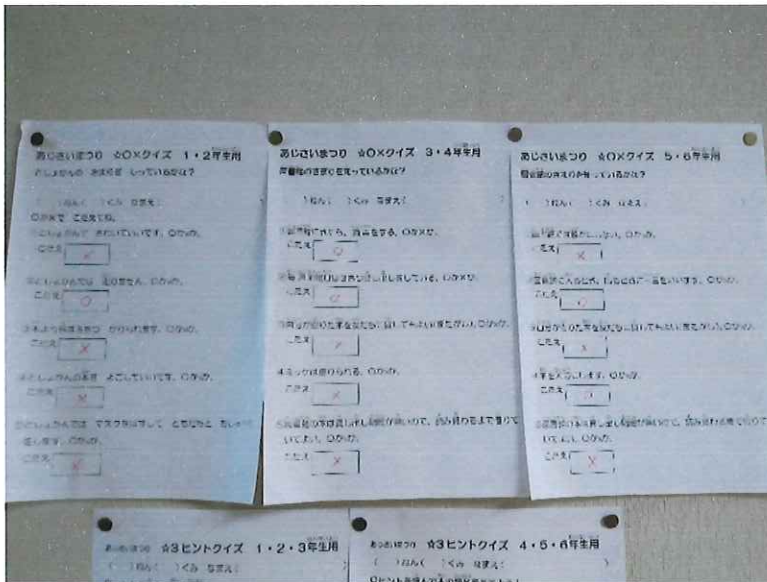
初めての取り組みだったが、図書委員が集計を頑張った。参加した児童たちも自分が投票した本が何位だったのが興味深く見ていた。

### 好きな本コンテスト

みんなの投票で決まった好きな本のランキングです。

1位	サバイバルシリーズ	14票	6位	日本の伝記	3票
1位	ほねほねザウルス	14票	6位	バムとケロシリーズ	3票
2位	おしりたんていシリーズ	13票	6位	ふしぎ駄菓子屋銭天堂シリーズ	3票
3位	ひみつシリーズ	6票	7位	その他の絵本	2票
4位	ノラネコぐんだんシリーズ	5票	7位	笑い猫シリーズ (怖い本)	2票
4位	恐怖コレクター	5票	7位	一期一会シリーズ	2票
5位	かいけつゾロリシリーズ	4票	7位	らくだい麗女シリーズ	2票
5位	こわい絵本	4票	7位	世界の伝記	2票
5位	花子さんシリーズ	4票	7位	ざんねんな生きもの辞典シリーズ	2票
5位	かいけつゾロリシリーズ	4票	7位	のりもの	2票
6位	きょうりゅうの本	3票	7位	グレッグのダメ日記	2票
6位	日本の古典	3票	7位	なぜなぜ (クイズ)	2票
			7位	小説	2票
			7位	おりがみ	2票
			7位	ヨシタケシンスケの絵本	2票
			7位	ポケモンの絵本	2票

たくさんのお投票、ありがとうございました！

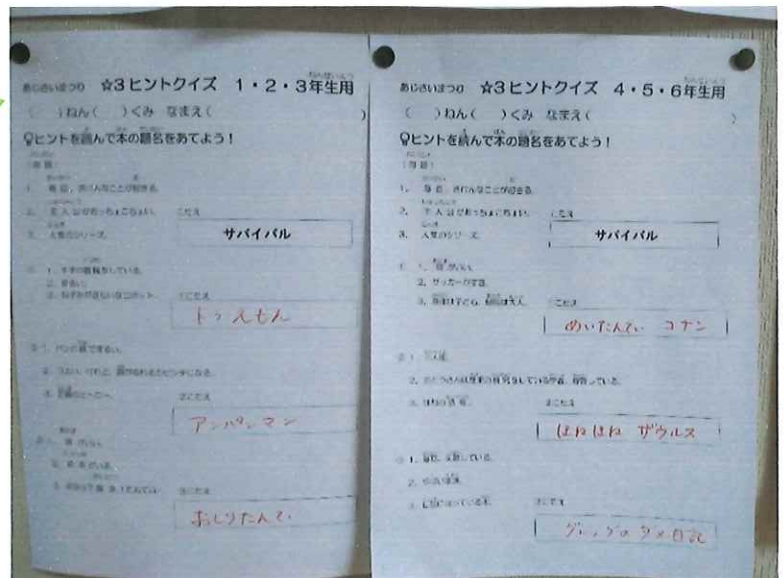


## O×クイズ

低・中・高学年にわけてクイズを行った。クイズで図書館のルール確認をすることができた。

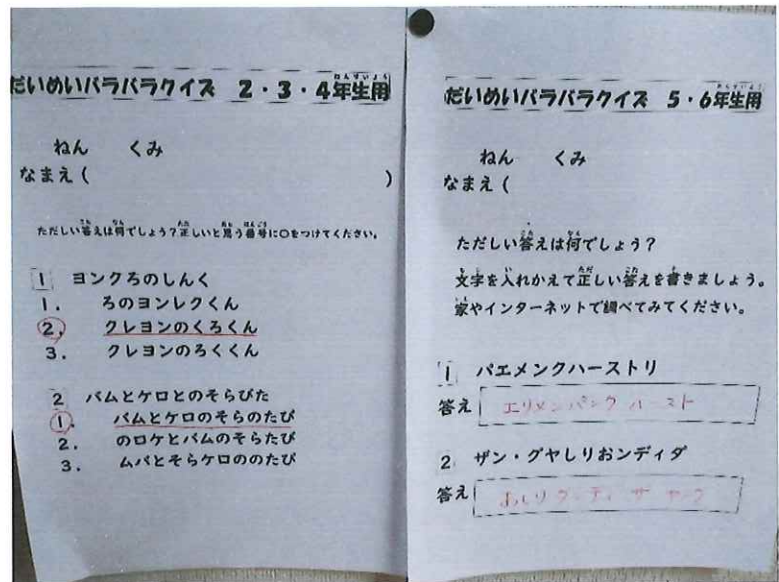
## 3ヒントクイズ

3つのヒントから本の名前をあてるクイズ。みんな楽しそうに解いていた。低学年はまだ、カタカナを習っていない時期だったので図書委員が手助けする場面も見られた。

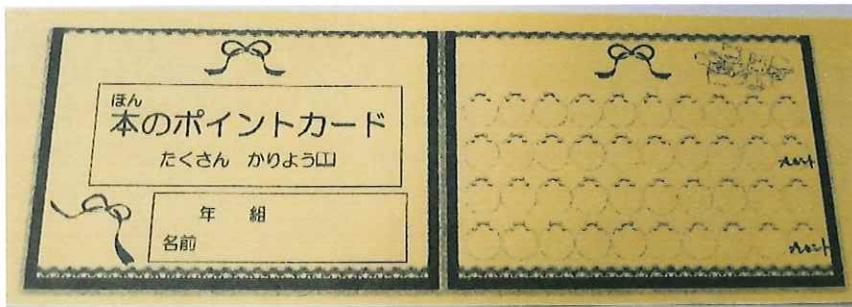


## 題名ぼらぼらクイズ

題名を並びかえて正しい題名を書くクイズ。なかなか難しい問題だったが、声に出しながら解く児童がたくさんいた。



## その他



## ポイントカード

本を借りにきたら1ポイントもらえる。20ポイント毎で貸出券1枚プレゼント。みんなポイントゲットを楽しみに来館している。

## 新しい本

あたらしい本が届いて貸出が開始されるまでの間、掲示してどんな本が入荷したか見ることができる。借りて読みたい欲求を掻き立てられ、他の本の読書意欲にもつながっている。



## 図書館の時間にPOP作成

図書館の時間にPOPを作成し、作成が終わった児童は発表する。「お友だちが書いた本はどれも楽しそう！」と貸出につながっている。



## 木曜日(1・2年生対象)読み聞かせボランティア

地域ボランティアによる読み聞かせの時間。1時間のなかで、読み聞かせやパネルシアターなど、様々なことをして下さる。楽しくて子どもたちも毎回楽しみにしており、使用された本はすぐに貸出へつながつている。



## とくしょの木

100冊・200冊・300冊～に応じて達成した児童を掲示。肯定感や読む喜びにつながっている。

貸出冊数にこだわらず、難しく長い文章に挑戦している児童にも「頑張っているで賞」を贈っている。

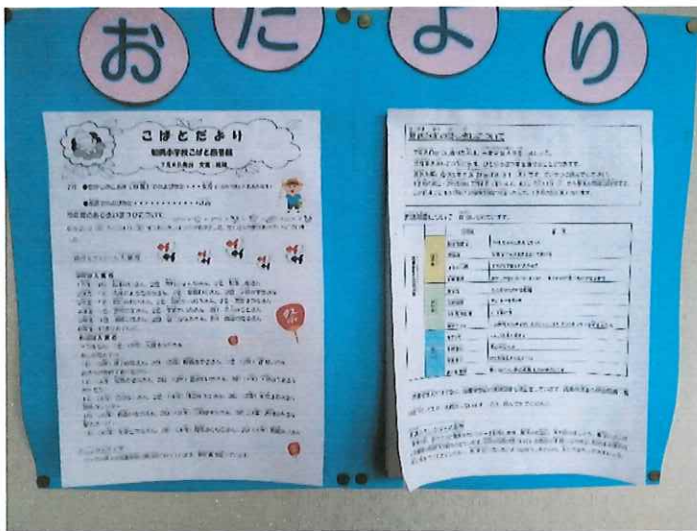
100冊達成者…130人・400冊達成者…10人  
200冊達成者…37人・500冊達成者…7人  
300冊達成者…18人・600冊達成者…1人



## 多読賞

毎月・学期毎に多読賞だった児童。飛躍的に読書量が増えた児童へ表彰をしている。これを見て肯定感や「頑張ろう」の意欲につながっている。





**図書館だより**

毎月、暦や英語での表記、季節に関する図書館のお知らせをしている。

子どもたち向けの図書館だよりとして、読みやすさを意識して作成している。

**公共図書館からのお知らせ**

市立図書館や県立図書館から届いたお知らせを掲示。



**入口の展示**

図書館の入り口に消毒・落とし物入れ・SDGs START BOOK を展示している。落とし物を入口に置くことで、自分の落とし物に気づきやすくなっている。

SDGs に興味がある児童が多く、これまでに全校生徒の2分の1あたりが STARTBOOK を自主的にもらっている。

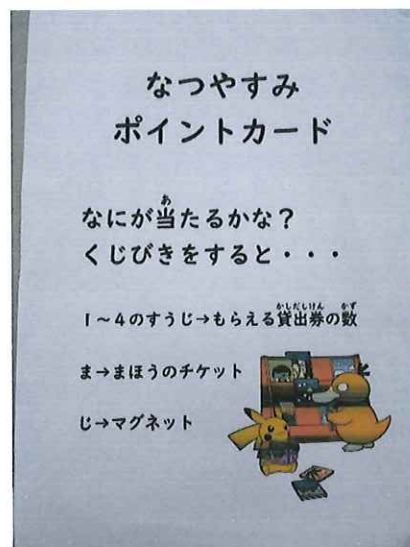




# 夏休みも図書館を楽しもう

## 夏休みポイントカード

夏休みに本を借りたら1ポイントもらえ、3ポイント毎にくじびきができる。最初は本を読みにきたり勉強しにきたりしていた児童も、本を借りたい意欲につながっていた。



## くじびきの様子

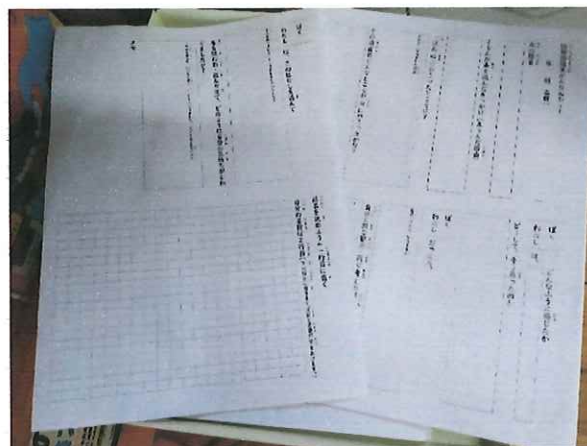
何が当たるかな? 「お目当てのくじが当たりますように!」と願いを込めながら引いていた。夏休み中は毎日5冊貸出をしていたので、プラス1冊貸出券を使って6冊借りる児童が多くいた。

## 読書感想文ワークシート

読書感想文の書き方を配布し、図書館には課題図書と共にワークシートを設置した。

夏休み前から取り組む児童もいた。

夏休みに図書館で書く児童もいたので、選書・書き方の相談にのった。



## まとめ



## こんな成果ができました!

様々な図書館改革を行い、今年度は登校している児童の貸出0冊はいませんでした。また、図書館って楽しい!毎日行きたい!と言ってくれる児童もいた。貸出冊数も現時点で昨年度1年間の総貸出冊数より既に3407冊増となった。子どもたちへの声掛け・アプローチの大切さを改めて感じた。